

平成30年度
指定管理者制度評価シート(前年度決算分)

所管 政策推進 課

1 指定管理者

① 指定管理者	一般財団法人 泉佐野市文化振興財団
② 指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日
③ 市支出額	209,800,736 円
④ 施設概要	(1)名称 泉佐野市立文化会館 (2)所在地 泉佐野市市場東1丁目295-1 (3)施設規模 建築面積:地上3階/地下1階 7961.84㎡ 延床面積:3,467.23㎡ (4)建築年 平成8年 1,376人収容の大ホール、457人収容の小ホールを中心に、レセプションホール、マルチスペース、ギャラリー、会議室(特別・大中小)、練習室(大小)、和室、茶室を備え、市民文化の振興と地域文化の発展を図ることを目的として、市参加型、一般鑑賞型などの自主事業を展開、また芸術文化活動の場を提供するため貸館業務も実施し、文化施設の拠点としての役割を担っている。

2 管理運営に関する評価

① 管理実施状況	内 容	自己 評価	市の 評価	委員 会 評価
a 施設の運営業務	<p>(1)開館日数 308日</p> <p>(2)利用率及び利用者サービスの向上の取り組み</p> <p>①平等な利用の確保のため、施設利用の公開抽選会を月初めに実施し、抽選漏れの方については、次の希望日等を聞き、アフターフォローに努めた。</p> <p>②レストラン横・キッズコーナーの充実や地階事務所前の広間に四季に合わせたアメニティーグッズを配置し、来館者や子供達に楽しんで頂ける施設づくりに取り組んだ。</p> <p>③平成28年度より新たに管理運営する生涯学習センターと予約システムを連動させ、利用機会の拡充を図り利便性を高めた。</p> <p>④稼働率の低い施設(特別会議室・和室・茶室)の利用料金を平成29年4月1日より引き下げを実施した。</p> <p>⑤利用機会の充実を図るため、会議室・練習室・和室・茶室の還付期限に関して、利用日の3か月前の前日までの取り消しに対し、既納利用料の8割還付を設けると共に、全施設に関し、8割還付期間において、入金日から1週間以内の取り消しに関しては全額還付の期間を設定した。更に会議室・練習室・和室・茶室の受付期間を「利用日前日まで」から「利用日当日まで」に変更し、更に利用機会の充実を図った。</p> <p>⑥利用方法の拡充を図るため、従来の使用法に捉われない柔軟な対応策として大ホールホワイエの単独貸し等を検討し、市と協議する。</p> <p>(3)文化振興事業の実施</p> <p>市民参加型及び音楽家・美術家等の育成事業に注力しつつ、助成金の申請や各団体との共催事業の実施により、限られた予算の有効活用に努めた。平成29年度は合計36事業39公演を実施。入場者数は13,128人(平成28年度:34事業40公演、15,841人)でした。また、自主事業総収支比率は 61.8%(平成28年度:53.6%⇒8.2%改善)と改善しております。</p> <p>①市民参加型事業(7事業10公演)「泉の森桜フォトギャラリー」、泉佐野市文化協会との共催事業の「泉の森市民ギャラリー」、「泉の森パレエフェスティバル2017」、「スタインウェイ・ジョイフルコンサート」、市との共催により実施し、運営・設営面よりサポートした「泉佐野市民展」、「泉の森クリエイティブコンサート」、「泉の森Harmony第20回定期演奏会」。</p> <p>②音楽家・美術家等の発掘・育成・普及事業(6事業6公演)プロのチェロ演奏家への登竜門として認知されている「泉の森ジュニアチェロコンクール」、「泉の森フレッシュコンサート(オーディション)」、「泉の森フレッシュガラコンサート」、「泉の森フレッシュコンサート」、「ふれあいマルチ文化蔵」、「泉佐野市音楽家クラブコンサート」。</p> <p>③オーケストラ・室内楽事業(4事業4公演)大阪交響楽団「クラシック放題」、「ティータイムコンサートVol. 70~72」</p> <p>④一般鑑賞型事業(8事業8公演)昭和の懐かしいヒットソングを楽しんだ「昭和ノスタルジアコンサート」、NHK・泉佐野市・ざいだんの三者共催による「新・BS日本のうた」、独創的なえんそうと生き様でファンを魅了する「フジコ・ヘミングソロコンサート」、若手落語家による「二人会」、懐かしい名作を楽しんで頂く「平日シネマ4回/年」、</p>	4	4	4

(様式1)

	<p>⑤地域文化の発展を目指した事業(9事業9公演) 福祉施設と連携し、文化のバリアフリーを目指した「福祉施設とのコラボレーション事業」、福祉施設へこちらから出向く「福祉施設へのアウトリーチ事業:2事業」さらなる地域文化の拡充を目指し、各所でのアウトリーチ公演を実施する新たな事業として今年度市内の病院で「アウトリーチ事業」の実施、「泉佐野おやこ劇場」、恒例となったプロの演奏家の実演や指導を各小中学校・高校に出向く「大阪交響楽団アウトリーチ事業」、第2回目となる全国規模の「全日本アマチュア将棋最強戦IN泉佐野」、今年度より実施した生まれ育った地元や同級生の活動を分かち合い、より親交や愛着を深める機会をつくるイベントとして「30歳の成人式in泉佐野」を泉佐野市からの受託事業として実施。むか新と共催で、子ども達の普段の何気ない思いを綴った作文のコンクールを実施し、地域の子も達への創造・育成事業の「第6回あのねフェスティバル」</p> <p>⑥賑わいづくり事業(2事業2公演) 屋外の広場において「泉の森さくらフェスティバル」を開催、地元高校や各団体の参加・協力を頂き春の賑わい作りに努める。レストランと連携して、お昼時にピアニストがレストランで演奏する「ピアノアフタヌーン」を開催。</p>			
<p>b 施設の維持管理業務</p>	<p>(1)文化会館・図書館・生涯学習センター・歴史館の4館を配した総合文化センターの維持管理については、警備・設備業務や清掃業務、舞台管理業務等を外部委託して、法令点検や定期点検などを実施した。また、警備や清掃の日報の提出や毎日の朝礼等の実施により、委託業者との連携調整の徹底を図った。</p> <p>(2)机や椅子等の備品の修理や植栽の一部剪定、施設周辺のゴミ拾い等を財団職員・委託業者職員が連携し、できるものは自ら行い、経費節減に努めた。また、不要な照明や空調は、利用者に不便をかけない範囲で、こまめに切ることで節電に努めた。また、滝のポンプの稼働時間の短縮や散水栓の自動タイマーの手動に切り替えて、節水にも努めた。</p> <p>(3)市が実施する大規模改修計画についても協議や資料提供を行い、効率的な施設・設備改修計画の実施に寄与した。</p> <p>(4)文化会館内の各施設内の有線LAN及びエントランスの無線LAN環境を構築し、利用者により快適な環境の提供を行う。</p> <p>(5)トイレに消毒用手洗い液・便座用消毒液を設置し、環境衛生を徹底的に管理することにより、清潔かつ心地よい利用空間の提供やおむつ交換台やベビーキープ台を設置し、親子連れにも配慮した。</p> <p>(6)自動販売機を2台から4台に増設し、夏季等の繁盛期の数量不足を解消した。</p> <p>(7)高齢者・親子連れの方に配慮し、エントランスの待合用エントランスソファを増設した。</p>	<p>4</p>	<p>4</p>	<p>4</p>

② 利用状況	内 容				自己評価	市の評価	委員会評価
<p>a 施設の利用状況 (予定を上回る又は下回る場合はその理由を含める)</p>		H27	H28	H29	<p>4</p>	<p>3</p>	<p>4</p>
	全体利用率	63.7%	64.2%	64.2%			
	施設利用者数	235,415人	255,806人	221,323人 前年比86.5% △34,483人			
	<p>施設の利用状況(利用率=使用日数/会館日数)は、全体で64.2%で昨年利用率(64.2%)を堅持している。個別にみると、大・小ホールでは37.4%と57.4%となり、それぞれ前年比 5.7%、2.2%の増となった。その他、練習室大が4.5%増の85.0%、小会議室で0.3%増の97.7%茶室で1.6%増の16.9%となるが、逆にギャラリーで△8.0%の36.2%、レセプションが△1.1%の70.3%、練習室小で△1.0%の94.5%、会議室系では、特別会議室・会議室大・会議室中が減少してそれぞれ△2.6%△4.6%、△4.2%減少し、36.4%・79.5%・86.4%に留まった。和室も△2.2%減少の38.7%となり、全体で64.2%の前年並みの利用状況となった。大・小ホール及びマルチスペースは、各音楽教室の発表会の利用の増及び、ダンス系教室の練習の利用が伸び、目標値を上回った。しかし、ギャラリー・レセプションの展示会などが減少し、目標値に至らなかった。茶室・和室については、茶道などの利用が激減しており、他の利用促進を検討している。また、曜日別の利用では、土・日の利用は、全体でも76.1%・76.9%と目標値を上回っているが、平日の利用では、火曜日で51.5%と最も利用が低くなっている。</p> <p>また、施設利用者数は、221,323人となっております。</p>						

(様式1)

③ 収支状況	内 容				自己 評価	市の 評価	委員 会 評価
a 収入状況 (予定を上回る又は下回る 場合はその理由を含める)		H27	H28	H29	4	4	4
	基本財産運用収入	750円	752円	300円			
	事業収入	9,090,479円	16,010,776円	12,194,243円			
	指定管理事業収入(精算後)	208,366,528円	206,509,117円	209,800,736円			
	利用料金収入	61,932,091円	61,395,739円	65,334,233円			
	雑収入	7,242,081円	4,151,388円	5,932,412円			
	合計	286,631,929円	288,067,772円	293,261,924円			
	※精算前指定管理料 216,973,000円 212,000,000円 212,000,000円						
(1) 事業収入の文化振興事業は、8,455千円で、前年比△5,051千円の減となった。これは平成28年度開催の「水森かおりコンサート」のチケット収入5,472千円の皆減によるものです。また、負担金では、新たに市受託事業の「30歳の成人式」の負担金1,280千円増の3,280千円 (2) 指定管理事業収入は、前年比3,292千円増の209,801千円 (3) 利用料収入は、ホール系の利用が伸びて前年比3,938千円(6.4%)増の65,334千円となった。 (4) 雑収入では、前年比 1,781千円増加し、5,932千円となった。主に自治総合センターからの助成金2,100千円の獲得ができたことによる。							
b 収支状況 (収支均衡以外はその理由を含める。)		H27	H28	H29	4	4	4
	収入	286,631,929円	288,067,772円	293,261,924円			
	支出	274,780,999円	279,060,180円	289,467,020円			
	収支差額	11,850,930円	9,007,592円	3,794,904円			
	(1) 事業活動収入計293,262千円、事業活動支出計289,467千円となり事業収支差額は、3,795千円の黒字となった。また投資活動収支差額は△3,597千円となり、当期収支差額は197千円となり、前期繰越収支差額34,332千円との合計次期繰越収支差額は34,529千円となった。 (2) 人件費では、公募提案による市職員給与の2号給下位とすると共に平成27年4月より、給与の4%カット(管理職は5%カット)を実施。 (3) 文化振興事業は、総収支比率 61.8%と改善に努めた。 (4) 施設管理面では、利用者の安全・快適性を重視し、優先的に改修を実施。(文化会館共用部カーペットの張替え5,508千円、大ホール舞台照明改修994千円、生涯学習センター多目的室音響設備改修733千円、冷温水器改修(4か所)594千円、地下駐車場スロープ補修400千円、他30件4,480千円) (5) 友の会事業会計へ一般会計より2,000千円の繰入を行い、友の会の存続を含め、友の会の抜本的な見直しを検討していく。 平成29年より、特典の拡大として、ポイントカードの導入で、チケット購入などで千円で1ポイントを付け、20ポイントで、500円の図書カードとの交換。新規入会や継続時にレストラン泉の森の食事券(200円)の進呈のサービスを実施。						
④ 運営体制	内 容				自己 評価	市の 評価	委員 会 評価
a 人員等の適切な配置	平成28年度より、生涯学習センター・佐野公民館・長南公民館の管理運営を行うこととなり、3公民館の経理も文化会館で一括管理し、効率化と経費節減のため、経理担当職員を1名増員(非常勤職員) 平成29年4月1日現在、プロパー職員5名、非常勤職員4名、パート3名の体制とした。				4	4	4

⑤ その他	内 容	自己 評価	市の 評価	委員 会 評価
a 独自の発意による指定管理者提案事業の取組状況（他の各項目に記入している内容を除く）	<p>(1) 剰余金の市民や利用者への還元を実施する。 平成28年度は、開館20周年記念事業として「水森かおりコンサート」を実施し、市民の皆様喜んでいただいた。 (事業費 9,867千円、事業収入 5,472千円) 平成29年度は2か年で、文化会館各階の共用部カーペットの張替えを実施する。開館して20年が経過し、痛みが激しいため、来館者の快適な空間づくりとして財団で改修する。 (事業費 : H29年度 5,508千円、H30 4,320千円 合計9,828千円)</p> <p>(2) 指定管理提案に基づく年度繰越金のうち、2分の1を市に返納する。 (平成29年度市精算額 : 2,197千円)</p> <p>(3) 財団職員で、サービスケアアテンダント資格取得者1名を中心に利用者にやさしいサービスの提供に努めた。更に平成29年度に1名に取得させて、より一層のサービスの充実を目指した。</p> <p>(4) 文化振興事業の「地域文化の発展を目指した事業」の充実を目指し市内各所でのアウトリーチ公演を行う新たな事業を実施。今年度は病院において公演し、患者さんの安らぎに寄与した。 また、「音楽家・美術家等の発掘・育成・普及事業」として、泉の森コントラバスコンクール(仮称)を計画。関係団体との調整を進めており平成31年度より実行委員会形式で開催を予定。</p> <p>(5) 若年層へのPRの強化として、泉の森ホールのホームページのリニューアルとともに、Facebook・Twitterなどを開始する。</p> <p>(6) 市が文化会館条例の使用料改正(3%UP)を平成28年4月1日施行で実施するが、財団として経営努力により、利用者負担の増を見送り据置料金とする。更に、公募提案通り、利用率の低い特別会議室・茶室・和室については、平成29年4月1日より引き下げた。 (特別会議室:区分毎に1,100円低く設定。茶室:区分毎に4割低く設定。和室:区分毎に2割低く設定。)</p> <p>(7) 利用者の「生の声」を聴く場として、友の会事業の「名画鑑賞会」終了後、友の会意見交換会を実施。</p> <p>(8) 来館されるファミリー層向けに、1Fエントランスにキッズコーナーを設置するとともに、地下出入口にも、動物のぬいぐるみや季節毎の飾り付けを行い、写真撮影など、親子連れの方々に喜ばれている。</p>	4	4	4

3 利用者の満足度調査等

① 満足度調査実施内容	<p>(1) 文化振興事業公演アンケート(H29. 4. 1~H30. 3. 31) 回答数 2,425件 文化振興事業の入場者に、公演の感想、催物の情報源、来館回数、交通手段、友の会の入会状況、公演開催の希望する曜日など、についてアンケートを実施。</p> <p>(2) 貸館アンケート(H29. 4. 1~H30. 3. 31) 回答数 140件 貸館利用者に施設の利用頻度、利用申込方法、施設利用満足度(施設・設備について～駐車場)、スタッフの対応満足度など、についてアンケート調査を実施。</p> <p>(3) 友の会アンケート(H29. 4. 1~H30. 3. 31) 回答数 607件 友の会会員に対し、公演の感想、交通手段、公演開催希望時間・曜日等についてアンケートを実施。</p> <p>上記のアンケート結果を今後の、文化振興事業の企画や、貸館業務に反映を行っております。</p>
② 満足度調査結果概要	<p>(1) 文化振興事業公演アンケート</p> <p>① 公演の感想 大変良い 65.5%、良い 30.9%、普通 3.1%、良くない 0.5%</p> <p>② 催物情報源(複数回答あり) 知人・友人 38.6%、泉の森ニュース 29.6%、チラシ 8.3%、ポスター 2.2% 新聞・TV 2.0%、HP 1.1%、DM 0.8%、その他 16.1% など</p> <p>③ 来館回数 初めて 14.0%、2~5回 25.3%、6~10回 16.6%、11回以上 44.1%</p> <p>④ 交通手段 自動車 69.9%、徒歩 12.1%、自転車・バイク 10.5%、バス 3.7%、タクシー 3.4%等</p> <p>⑤ 性別 男性 31.4%、女性 68.6%</p> <p>⑥ 年齢 20歳未満 6.0%、20~30歳代 4.4%、40~50歳代 21.0%、60歳以上 68.6%</p> <p>入場者の居住地や公演開催希望時間・曜日は、別添参考資料参照</p>

	<p>(2)貸 館アンケート</p> <p>①利用者年齢 20歳未満 18.6%、20～30歳代 5.7%、40～50歳代 12.9%、60歳以上 62.8%</p> <p>②利用者の性別 男性 27.9% 女性 72.1%</p> <p>③施設の利用申込方法 来館 70.0%、FAX 12.9%、インターネット 5.7%、携帯電話 11.4%</p> <p>④施設の利用頻度 週数回程度 7.9%、月数回程度 37.1%、年数回程度 48.6%、初めて 6.4%</p> <p>⑤施設利用のキッカケ 近いから 43.1%、施設が良い 23.1%、安い 14.6%、サービスが良い 5.4% 他に施設がないから 7.7%、その他 6.1%</p> <p>⑥利用満足度</p> <p>(全体) 満足 72.5%、やや満足 26.4%、やや不満 1.1%、不満 0.0%</p> <p>・施設・設備 満足 73.6%、やや満足 25.3%、やや不満 1.1%、不満 0.0%</p> <p>・警備・管理 満足 68.1%、やや満足 30.8%、やや不満 1.1%、不満 0.0%</p> <p>・清掃 満足 75.8%、やや満足 19.8%、やや不満 4.4%、不満 0.0%</p> <p>・案内表示 満足 70.3%、やや満足 27.5%、やや不満 2.2%、不満 0.0%</p> <p>・駐車場 満足 59.3%、やや満足 30.8%、やや不満 4.4%、不満 5.5%</p> <p>・利用・駐車料金 満足 67.0%、やや満足 29.7%、やや不満 1.1%、不満 2.2%</p> <p>(スタッフの対応)</p> <p>・言葉遣い 満足 90.0%、やや満足 10.0%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p> <p>・応接態度 満足 90.0%、やや満足 10.0%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p> <p>・説明方法 満足 87.5%、やや満足 12.5%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p> <p>(3)友の会アンケート</p> <p>・友の会事業「内田あやバレンタインライブ」 大変良かった 65.8%、良かった 31.6%、普通 0.0%、良くない 2.6%</p> <p>・友の会名画鑑賞会「ラ・ラ・ランド」 大変良かった 41.5%、良かった 49.3%、普通 9.2%、良くない 0.0%</p>
③ 利用者意見・苦情と対応	<p>(1)利用者から要望が多かった地下駐車場南出口(カーブがきつく曲がりにくい。精算機に幅寄せしにくい)について、精算機を移設し、車の幅寄せをやり易くしたことにより、精算時間の短縮になり、サービス向上に繋がった。</p> <p>(2)地下駐車場北出口スロープの舗装タイルが浮き、ガタガタ音がするので一部補修工事を行い、苦情の解消に繋がった。</p> <p>(3)各部屋内に無線LAN環境及びエントランスの無線LAN環境を構築して、来館者に快適な環境を提供した。</p> <p>(4)乳幼児を連れて来館者からの要望に応え、各階トイレにベビーキープ台(6か所)を設置。</p> <p>(5)開館から、20年が経過し、共用部のカーペットの損耗がひどくなってきたため、全面的に張替えを実施し、快適な環境を整えた。</p> <p>(6)高齢者の方が、地下駐車場から入り口までの動線に低い段差があり、つまづくことが多い為、職員で安全テープ(黄色と黒色の縞模様)を段差部に設置し分かりやすくした。</p>

4 評価

	所 見	評価
① 市の評価	<p>自主事業は昨年度より2事業多い36事業を実施し、公演後の満足度調査では「大変よい」「よい」の回答率が96.4%と高い水準で推移しています。また、施設使用率が64.2%と昨年度と同率となっており、黒字相当額の一部を活用したカーペット張替を実施しながら、最終的に収支は黒字となっていることを評価しました。今後も、収支比率の向上、経費節減に努めながら、工夫を凝らした自主事業の実施等により、地域住民の身近な文化芸術活動の機会の確保に努めてほしい。</p>	4
② 指定管理者制度 評価委員会の評価	<p>施設利用者数は、昨年、一昨年と比べ減少しているが、全体利用率については、一昨年から上昇した昨年同様の水準を保っており、その上で収支状況も黒字を確保していることは評価でき、全体として優れている。</p>	4

平成30年度
指定管理者制度評価シート(前年度決算分)

所管 生涯学習 課

1 指定管理者

① 指定管理者	一般財団法人 泉佐野市文化振興財団
② 指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
③ 市支出額	46,592,008 円
④ 施設概要	<p>(1)名称 ①泉佐野市立生涯学習センター、②泉佐野市立佐野公民館、③泉佐野市立長南公民館 (2)所在地 ①泉佐野市市場東1丁目295-1、②泉佐野市大西町1-1651-1、③泉佐野市南中樫井1 (3)施設規模 ①建築面積:地上3階/地下1階 778.09㎡、延床面積:2720.73㎡ ②建築面積:地上4階 424.77㎡、延床面積:1584.42㎡ ③建築面積:地上4階 636.24㎡、延床面積:1486.07㎡ (4)建築年 ①平成8年、②平成4年、③平成8年 地域住民の生涯学習を推進し、市民の教養、文化の発展と健康で生きがいのある市民生活の向上を図る施設としての役割を担っている。 生涯学習センターは、200人収容の多目的室をはじめ、12室を配している。 佐野公民館は、70人収容の多目的室を含め、6室の施設と図書室を配している。 長南公民館は、70人収容の多目的室を含め、6室の施設と図書室を配している。</p>

2 管理運営に関する評価

① 管理実施状況	内 容	自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 施設の運営業務	<p>(1)開館日数 293日 (2)利用率及び利用者サービスの取り組み ① 平等な利用の確保のため、施設の予約については利用日の月の3か月前の月初めに予約を受け付け、予約の部屋が重なった場合は、先着順とし、予約を取れなかった方には希望を聞き、他の部屋や他の2公民館及び文化会館を紹介して、アフターフォローに努めました。 ② 生涯学習センターと、文化会館をネット接続し、施設予約システムを導入して、生涯学習センターの予約をインターネットや携帯電話からもできるようにすると共に、相互に空き状況を見れるようにして利用者の利便性を高めました。 今後、対費用効果を考慮して2館にも広げて行くように検討している。 ③ クラブの育成については、施設の利用料の減免措置や部屋の予約の優先など、クラブの活性化に努めました。 ④ 市民講座の実施には、3館の整合性をとるため、生涯学習課と3館で毎月協議を行なっている。 ⑤ 自主講座については、生涯学習センターにおいて、ミニコンサートの開催や、NHKと連携し、NHK公開講演会の開催を実施すると共に地域住民の関心の高い内容の講座を毎月3～4回開催する。</p>	4	4	4
b 施設の維持管理業務	<p>(1)3館はそれぞれ、佐野公民館が平成4年9月、生涯学習センターと長南公民館が平成8年5月にオープンしておりそれぞれ築20年経過、そのため、市が実施する大規模改修の効率的な施設・設備改修計画を立てる基礎資料として3館の整備計画(案)を策定し提供する。 (2)施設の修繕については、利用者の安全面や快適性を優先した改修に努めた。生涯学習センターでは、多目的室のワイヤレスマイクシステムの更新(733千円)。佐野公民館では、館内の防犯対策として監視カメラの設置(594千円)ほか8件。長南公民館では、防火シャッターの改修(130千円)ほか7件。 (3)委託業務については、仕様書の見直し等含め削減に努めた。また職員でできることは自ら実施(低木の一部剪定、防虫剤の散布など)して、経費節減に努めた。</p>	4	4	4

(様式1)

② 利用状況	内 容				自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 施設の利用状況 (予定を上回る又は下回る 場合はその理由を含める)		H27	H28	H29	3	3	3
	生涯学習センター利用率	—	83.0%	80.8%			
	佐野公民館利用率	—	81.5%	80.7%			
	長南公民館利用率	—	49.3%	50.7%			
	クラブ発表会入場者(展示含む)	—	2,975人	2,901人			
	生涯学習センター利用者数	93,946人	96,452人	94,557人			
	佐野公民館利用者数	28,445人	28,446人	28,449人			
	長南公民館利用者数	14,845人	15,142人	15,482人			
	<p>施設利用状況(利用率=使用日数/会館日数)は、生涯学習センターで、全体で80.8%(昨年比△2.2%)となった。利用率が80%を超えた施設は、第1講座室を含め8施設で、達成したが多目的室他3施設において達成できなかった。多目的室で△9.7%と下がったのは、昨年利用されていた3団体がH29よりクラブ登録され利用料金の安い部屋に変わった後新規の利用者の確保ができなかったもの。また、プレイルームは単独貸出しはなく、保育室としての利用でありH29年度は、保育ありの利用が減ったため。</p> <p>佐野公民館で、全体で80.7%(昨年比△0.8%)となった。多目的室ほか3部屋で、80%を上回ったが、料理室が35.5%の利用率と低迷し、全体を引き下げる要因となった。</p> <p>長南公民館で、50.7%(昨年比1.4%増)と前年度よりは、向上したものの2館と比べ、低い利用率となっている。これは、施設が調整区域内にあり、地域の人口密度が少ないこと。さらに施設面で駐車スペースが狭く、17~8台の為、貸出しが重なるときは車の相乗りを依頼したり、場合によっては、貸出しできないケースもあり利用率の伸びない要因となっている。</p> <p>○クラブの発表会については、3館合同で生涯学習センターにおいて開催しており、平成30年2月24日~25日の2日間、開催し、延べ入場者980人の皆様に日頃の成果を披露し、楽しんで頂いた。</p> <p>また、クラブ発表会の展示の部は3館それぞれで平成30年3月9日~11日の3日間開催し、3館合計で延べ1,921人の皆様に鑑賞して頂きました。</p>						
	③ 収支状況 a 収入状況 (予定を上回る又は下回る 場合はその理由を含める)		H27	H28			
指定管理料		—	44,860千円	46,592千円			
事業収入		—	52千円	77千円			
利用料金		—	6,491千円	6,300千円			
その他(雑入)		—	433千円	444千円			
合計		—	51,836千円	53,413千円			
<p>(1) 指定管理事業収入は、3館合計で 46,592千円となった。 公募提案による年度繰越額の精算として、2分の1の額(3,474千円:備品・修繕料の精算額は除く)を市に返納する。</p> <p>(2) 文化振興事業収入は、77千円で、前年比 25千円の増収。 これは、平成29年度は、佐野公民館でもミニコンサートを開催したものです。</p> <p>(2) 利用料については、6,300千円で、前年比△191千円(△2.9%)の減収となった。主には、クラブ登録による7割減の団体があった。</p> <p>(3) 雑入では、444千円で、前年比 11千円の微増となった。</p>							

(様式1)

b 収支状況 (収支均衡以外はその理由 を含める)							
		H27	H28	H29			
	収入	—	52,487千円	53,413千円			
	支出	—	46,587千円	49,939千円			
	収支差額	—	5,850千円	3,474千円			
	<p>(1) 3公民館の事業活動収入合計 53,413千円、事業活動支出合計 49,939千円となり、収支差額は 3,474千円となり、前期繰越収支額 5,250千円と合計次期繰越収支額 8,724千円を計上できた。</p> <p>(2) 文化振興事業については、市教育委員会との協議により、従前の講座については、市が直営で行うこととなっていたが、佐野公民館・長南公民館については、指定管理者で継続して実施してほしい旨の依頼を受け、財団で実施していくこととした。また、講座の受講料については、従前どおり、徴収しないように指示があり、文化振興事業収入が予定より落ち込むこととなったが、施設管理面で経費節減に努め、単年度収支黒字を維持した。</p> <p>(3) 施設管理面では、委託業務の仕様書の見直しや入札により、経費節減を行う。しかし、公民館も築20年を経過し、老朽化が著しい為市の大規模改修計画の基礎となる公民館整備計画書を策定し市と協議すると共に、利用者の安全を優先した修繕を実施。</p>				4	4	4

④ 運営体制	内 容	自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 人員等の適切な配置	各公民館については、市の直営時と同規模の人員配置を行い、運営業務低下を起こさないように配慮して、職員6名、パート職員7名を採用。今後は、文化会館の職員との交流も含め、配置については検討していきます。	4	4	4

⑤ その他	内 容	自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 独自の発意による指定管理者提案事業の取組状況 (他の各項目に記入している内容を除く)	<p>(1) 利用促進及び利便性を考慮して、生涯学習センターに文化会館と同様の施設予約システムを導入し、両館で予約状況の確認や利用者が空き状況を両館見れるようにした。生涯学習センターの予約については、PCでネット予約及び携帯電話からの予約も可能とした。今後は、他2館についても、予約システム導入を対費用効果を見つつ検討してします。</p> <p>(2) 市高齢介護課との協賛により、3館で高齢者の健康教室として泉佐野市元気塾を講座の一環として実施。(今後も継続していきたい。)</p> <p>(3) NHK大阪放送局と協議により、NHK開催の展示会等に関連した公開講演会を実施。</p> <p>(4) 泉の森ホールの主催事業に出演した若手音楽家による公民館でのミニコンサートを開催。身近で音楽に気軽に親しんで頂く場を提供。</p> <p>(5) 長南公民館において、空き部屋を利用して、地域の子供達の夏休み期間中、自習室として開放し、地域の子供達のコミュニケーションの場を提供した。</p>	4	4	4

3 利用者の満足度調査等

① 満足度調査実施内容	<p>① 主催講座参加者アンケート(平成29年4月1日～平成30年3月31日) 講座の参加者に、講座の感想、参加回数、年齢、開催の情報源などについてアンケートを実施し、今後の講座企画に反映していききたい。</p> <p>② 施設利用者アンケート(平成29年4月1日～平成30年3月31日) 施設利用者に、公民館の管理・運営について 開館日・時間について、施設サービス、施設の清潔さ、職員・スタッフの対応について、施設全体について 大変満足から大変不満の5段階で評価して頂き、今後の管理運営に反映するため、アンケートを実施。</p>
② 満足度調査結果概要	<p>(1) 講座参加者アンケート結果 総受講者数 1,551人 回答数 1,307人</p> <p>① 受講者の性別 男性 14.6% 女性 72.3% 無記入 13.1%</p> <p>② 居住地 市内 85.6% 市外 13.9% 無記入 0.5%</p> <p>③ 年齢 ~20代 5.0% 30代 2.6% 40代 9.9% 50代 10.5% 60代 43.5% 70代 24.5% 80代 2.0% 無記入 2.0%</p> <p>④ 参加回数 初めて 36.6% 1～4回 30.7% 5回以上 9.0% 10回以上 5.3% 回数不明 14.2% 無記入 4.2%</p> <p>⑤ 開催の情報源 広報いずみさの 75.5% チラシ・ポスター 8.5% 市のHP 1.3% 知人から 10.6% 無記入 4.1%</p> <p>⑥ 講座の評価 大変良かった 63.4% 良かった 27.8% ふつう 1.4% 少し悪かった 0.1% 悪かった 0.0% 無記入 7.3%</p> <p>(2) 利用者アンケート結果 回答数 163人</p> <p>① 性別 男性 23.3% 女性 74.9% 無記入 1.8%</p> <p>② 年齢 ~10歳 1.8% 20歳代 0.0% 30歳代 3.7% 40歳代 14.1% 50歳代 10.4% 60歳以上 66.9% 無記入 4.3%</p> <p>③ 職業 会社員 9.2% 公務員 1.8% パート・アルバイト 11.1% 自営業 8.0% 学生 1.2% 無職 64.4% 無記入 4.3%</p> <p>④ 居住地 市内 68.1% 市外 23.3% 無記入 8.6%</p> <p>⑤ 管理運営について</p> <p>a 開館日・時間 大変満足 34.4% やや満足 30.1% 普通 29.4% やや不満 4.3% 大変不満 0.0% 無記入 1.8%</p> <p>b 施設サービス 大変満足 30.1% やや満足 37.4% 普通 25.8% やや不満 3.7% 大変不満 1.2% 無記入 1.8%</p> <p>c 職員・スタッフの対応 大変満足 55.2% やや満足 26.4% 普通 16.0% やや不満 0.6% 大変不満 0.6% 無記入 1.2%</p> <p>d 施設全体の満足度 大変満足 30.1% やや満足 43.6% 普通 24.5% やや不満 0.0% 大変不満 0.0% 無記入 1.8%</p>
③ 利用者意見・苦情と対応	<p>① 部屋の空き状況の確認や予約の申請が手間という意見を受け、文化会館と同じ施設予約システムを導入し、ホームページからの部屋の空き状況から利用申込ができるようにした。更に、携帯電話からの利用申込も可能にした。 H29.8～H30.7の申込件数1,375件中、ネット予約が 193件(14.0%)、携帯電話予約が 7件(0.5%)まだまだ利用割合は少ないが、徐々に増えている。 また、利用者からは、空き状況の確認がHPから、リアルタイムでき、電話や来館しなくて良くなったと好評を得ている。 他の2館についても、対費用効果を検討し、導入を検討していきたい。</p> <p>② 各館とも、施設の老朽化に伴う、意見があり、予算枠(350千円)を考慮しつつ、安全面を重視して、改修をしている。</p> <p>③ 佐野公民館に不審者が出没したり、車へのイタズラが発生して利用者から不安の声があり急遽、防犯の監視システム(館内4か所、駐車場1か所)を設置する。(費用:594千円)</p> <p>④ 低木の一部剪定や防虫剤の散布、椅子の修理など職員ができるものは、自ら修理・交換して、快適な環境づくりに努めた。</p> <p>⑤ 駐車場が狭く、満車となる場合が多いため、事前に車利用者が多く見込まれるときは、利用の団体や講座受講者別に退出時間を見込みながら、職員が駐車誘導を行い、詰込みながら、駐車スペースを確保している。</p> <p>⑥ 多目的室の照明が暗いと苦情があり、すぐにLED照明に取り替えて、明るさの確保とともに省エネ効果も得た。</p>

(様式1)

4 評価		
	所 見	評価
① 市の評価	利用者の利便性を向上するためのインターネットで貸館の予約ができるシステムの導入や、利用者ニーズを把握して的確に防犯設備や施設改修を行うなど、利用者目線の管理運営を高く評価し、直営での修繕対応・委託業務の見直しなどの経費削減等も高く評価しました。また、公民館利用者の満足度調査の結果も運営(講座)・運営サービスともに高水準であることを高く評価しました。	4
② 指定管理者制度 評価委員会の評価	利用状況、収支状況ともに平均的に推移しており良好である。直営時に比べ予約システムの充実や独自イベントの実施、体制面では指定管理者本体部分との連携による支援体制もあり、全体として優れている。	4

(様式1)

平成30年度
指定管理者制度評価シート(前年度決算分)

所管 生涯学習 課

1 指定管理者	
① 指定管理者	株式会社 図書館流通センター
② 指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
③ 市支出額	79,000,000円
④ 施設概要	(1)名称 泉佐野市立中央図書館(佐野公民館図書室、長南公民館図書室) (2)所在地 泉佐野市市場東1丁目295-1(中央図書館) (3)施設規模 建築面積:地上2階/地下1階 1450.99㎡ 延床面積:3,467.23㎡(中央図書館) (4)建築年 中央図書館:平成8年、佐野公民館図書室:平成4年、長南公民館:平成8年 中央図書館、佐野公民館図書室、長南公民館図書室の3館と移動図書館いちよう号1台からなる図書館。蔵書数は約42万冊(うち児童書約12万冊、視聴覚資料約3万点を含む)。市民の文化振興と地域文化の発展を図ることを目的とし、市の選書方針に基づいて資料を収集している。様々な方にご利用いただくことを目指して「すくすくタイム」「おやこde ヨガ」「夏休み科学実験教室」といった自主事業を新たに実施。地域の生涯学習の場としての役割を担っている。

2 管理運営に関する評価				
① 管理実施状況	内 容	自己評価	市の評価	委員会評価
a 施設の運営業務	平成29年度 開館日及び開館時間 9:30～17:00 (中央のみ 火曜～土曜 19:00まで開館) 中央図書館 287日 佐野公民館図書室 272日 長南公民館図書室 272日 移動図書館いちよう号 177日(407回)	4	4	4
	休館日 月曜日、年末年始、特別図書整理期間、毎月末最終木曜日(月末図書整理休館日)、祝日は中央図書館のみ開館			
	平成29年度 以下の小規模修繕を実施。 ・移動図書館いちよう号の後部リフト部分の油圧ダンパーのオイル漏れ (6月12日) ・輪転機給紙部分の紙詰まり (8月30日) ・佐野公民館図書室のソファ張替(4脚分) (1月17日)			
b 施設の維持管理業務		3	3	3

② 利用状況	内 容			自己評価	市の評価	委員会評価	
a 施設の利用状況 (予定を上回る又は下回る 場合はその理由を含める)		H27	H28	H29			
	個人登録者数	2,158人	2,202人	2,026人 (前年比92.0%)			
	貸出利用者数	83,814人	82,641人	81,478人 (前年比98.5%)			
	個人貸出冊数	344,490冊	360,205冊	352,547冊 (前年比97.8%)			
	予約・リクエスト処理件数	30,641件	37,737件	40,024件 (前年比106%)			
	所蔵	27,276件	34,163件	36,226件			
	購入	713件	548件	873件			
	借用	2,652件	3,026件	2,938件			

(様式1)

	団体利用	74団体	79団体	79団体 (前年比 100%)	3	3	3
	団体利用回数	519回	394回	527回 (前年比 133.7%)			
	団体利用冊数	9,304冊	8,194冊	7,383冊 (前年比 90%)			
	レファレンス件数	5,587件	5,170件	4,573件 (前年比 88%)			
	問合わせ件数	—	13,212件	11,740件 (前年比 88%)			
	書庫出納回数(中央のみ)	15,586	16,693	14,429回 (前年比 86%)			
	入館者数	—	204,298人	205,869人 (前年比 100.7%)			

③ 収支状況	内 容				自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 収入状況 (予定を上回る又は下回る 場合はその理由を含める)		H27	H28	H29	3	3	3
	指定管理料	—	79,000,000円	79,000,000円			
	自主事業収入	—	5,000円	2,500円			
	自動販売機収入	—	139,332円	162,500円			
	合計	—	79,144,332円	79,165,000円			
	収入は79,165,000円。うち、指定管理用以外では自主事業売上(「製本教室」材料費(実費)2,500円、飲料自販機収入162,500円。 なお、飲料自販機利益相当額を前年度に引き続き、雑誌の購入代金に充当し雑誌コーナーの拡充に努めた。						
b 収支状況 (収支均衡以外はその理由 を含める)		H27	H28	H29	3	3	3
	収入	—	79,144,332円	79,165,000円			
	支出	—	79,133,486円	79,164,049円			
	収支差額	—	10,846円	951円			
	収支差額は961円。これは消費税及び地方消費税の誤差等によるものである。						

④ 運営体制	内 容			自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 人員等の適切な配置	平成29年度			4	4	4
	館長 1名 副館長 1名 責任者 2名 一般スタッフ 20名 うち、司書資格者22名	* 勤続年数の長いスタッフを中心に十分な勤務体制を組むことで、きめ細やかなサービスの実施に努めた。				

(様式1)

⑤ その他	内 容	自己 評価	市の 評価	委員会 評価
a 独自の発意による指定管理者提案事業の取組状況(他の各項目に記入している内容を除く)	新規自主事業	4	4	4
	「一番好きだった絵本」(中央) 28名 「みんなでつくるクリスマスツリー」(中央) 31名 「おやこdeヨガ」(中央) 親子9組 「金融講座 金融トラブルに巻き込まれないために」(中央) 11名			
	新サービスの導入及び新規取組事項			
	「みんなでシネマ」導入(中央) 映画会の参加人数増(681名・前年比120%) 「館内表示(書架の見出し板)」の整備(全館) 館内テーブル等のレイアウト変更およびソファコーナー拡充(中央・佐野) 資料展示コーナー拡充(中央) 雑誌コーナーのレイアウト変更(中央) ボランティアグループ「泉佐野こどもの本の会」様より絵本書架2台をご寄贈いただき、おはなし室および児童書コーナーのレイアウト変更(中央) 泉佐野市社会福祉協議会所属の朗読ボランティアの協力による「対面朗読サービス」の実施(平成29年11月より開始、継続中)			

3 利用者の満足度調査等

① 満足度調査実施内容	平成30年1月5日から1月31日まで、「泉佐野市立図書館の管理運営に関するアンケートを実施」。回収326枚。(実施場所: 中央図書館、佐野公民館図書室、長南公民館図書室、移動図書館いちょう号)
② 満足度調査結果概要	回収した326枚のうち、88%にあたる288人が泉佐野市在住。残りも近隣の地域(泉南市、熊取町、田尻町)からの利用が約1割を占めた。利用内容については「図書・雑誌や視聴覚資料の貸出・返却/閲覧」が合わせて8割以上と、利用目的の「趣味や教養の知識を得るため」(243人:45%)、「趣味の時間を過ごすため」(149人:28%)とほぼ合致し、市民の生涯学習の場として図書館が定着していることがうかがえる。またスタッフの対応については「良い〜ふつう」が「電話対応」「窓口対応」「要望などの対応」の各項目で94%~63%となった。特に「電話対応」「窓口対応」の「よい」に関するポイントはそれぞれ前年比で10%ずつアップしており、利用者の満足度も高まっていることがうかがえる。今後さらに細やかで満足度の高いサービスを市民に提供していきたい。
③ 利用者意見・苦情と対応	佐野公民館図書室のソファ張替後、より居心地の良い空間を作るべくソファコーナーのレイアウト変更を実施。「明るくなった、きれいになった」と好評をいただく。 中央図書館では、蔵書点検中の休館期間を利用して「おはなし室のレイアウト変更」(絵本書架を寄贈いただいたことによる)・「フロア全体のソファコーナー拡充」・「雑誌のゾーニング変更」などの見直しを行い、「より滞在しやすい」「調べものや資料閲覧に適した」空間へと変更。その結果、アンケートの結果等からもこれまでより利用者の滞在時間が増え、利用者の満足度も高まっていることが分かった。 全館での館内見出し板の見直しを行い、「ピクトグラム」などを使って「わかりやすく見やすい」表示を心掛け、利用者が目的とする資料にたどり着きやすいように工夫した。 障害のある利用者からの要望で開始した「対面朗読サービス」は現在も継続しており大変好評である。

4 評価

所 見	評価	
① 市の評価	昨年より、貸出者数・貸出冊数は減少したものの来館者数は増加していました。これは、館内レイアウトの変更や書架見出しの見直しなど、居心地の良い空間作りに努めた結果であり、利用者のアンケートでスタッフの対応についての評価が上がっていることからもうかがえます。今後、貸出・レファレンスなどの資料・情報の提供においてより件数を伸ばすことを課題として、社会情勢の変化や市民のニーズを考慮して、利用者の望む資料・情報の提供に努めてもらいたい。	3
② 指定管理者制度 評価委員会の評価	貸出利用者数や貸出冊数は、若干減少傾向にはあるが、館内利用者に対応したレイアウト変更や環境整備の工夫を図っており、入館者数の伸びに繋がっているとみられる。収支面では、均衡を保っており良好である。今後は貸出につながるレファレンスの充実にも努められたい。	3

平成30年度
指定管理者制度評価シート(前年度決算分)

所管 文化財保護 課

1 指定管理者	
① 指定管理者	公益財団法人 大阪府文化財センター
② 指定期間	平成28年4月1日～平成30年3月31日
③ 市支出額	23,000,000円
④ 施設概要	(1)名称 泉佐野市立歴史館いずみさの (2)所在地 泉佐野市市場東1丁目295-3 (3)施設規模 建築面積:地上1階/地下1階 778.09㎡ 延床面積:1550.31㎡ (4)建築年 平成8年 ①地上1階 693.96㎡ 展示室・事務室・応接室・和室・エントランスホール等 ②地下1階 856.35㎡ 研修室・整理研究室・一般収蔵庫・特別収蔵庫・前室・資料室等

2 管理運営に関する評価				
① 管理実施状況	内 容	自己評価	市の評価	委員会評価
a 施設の運營業務	常設展では必要に応じて展示解説を行った。特別展・企画展では泉佐野市に関係したテーマに沿って考古・文献・民俗資料を展示し、関連講演会を実施した。小中学校と連携し、歴史館を利用した授業、学芸員を派遣し、出前授業を行ったほか、諸団体の要請に応じ、学芸員を講師として派遣、講演会・講座を開催した。	4	4	4
b 施設の維持管理業務	展示物の点検、破損物の修理委託、収蔵庫の温湿度管理、年2回の燻蒸業務委託。寄託・寄贈資料の受入れ、記録、保管。常設展示室設置のジオラマ模型に接触・いたづらなどの防止警報装置を取り付けた。	4	4	4

② 利用状況	内 容			自己評価	市の評価	委員会評価	
a 施設の利用状況 (予定を上回る又は下回る場合はその理由を含める)		H27(直営)	H28	H29	4	4	3
	開館日数	289日	293日	294日			
	利用者数	10,065人	10,041人	10,734人 前年比 107% +693人			
	利用者数 H28年:10,041人/293日 H29年:10,734人/294日 講師派遣(出前授業・出張講座・イベント参加等)を積極的に実施したことによるものとする。また、歴史館ボランティアは29年度に新規募集を開始し、講座・ワークショップなどで活動した。(ボランティア登録者数4人)						

③ 収支状況	内 容			自己評価	市の評価	委員会評価	
a 収入状況 (予定を上回る又は下回る場合はその理由を含める)		H27(直営)	H28	H29	3	3	3
	指定管理料	—	23,000,000円	23,000,000円			
	その他(材料費、利息)	—	26円	25,826円			
	合計	—	23,000,026円	23,025,826円			
指定管理委託料は23,000,000円。その他収入25,826円。 計23,025,826円。(すべて税込) その他収入は館内館外でのワークショップにおいて徴収した材料費相当および受取利息。							

(様式1)

b 収支状況 (収支均衡以外はその理由を含める)					3	3	3
		H27(直営)	H28	H29			
	収入	—	23,000,026円	23,025,826円			
	支出	—	23,218,315円	22,917,823円			
	収支差額	—	△ 218,289	108,003			
H29年度(税込) 人件費 17,024,000円 事務費・事業費 5,893,823円 小計22,917,823円 収支差額 108,003円							

④ 運営体制	内 容	自己評価	市の評価	委員会評価
a 人員等の適切な配置	仕様書どおり、従事者3名以上を配置し、うち学芸員有資格者は常時2名以上配置。自主事業・出張講座・出張WSなどに際し、フレキシブルに対応し、適宜4名を配置。事業内容等の必要に応じ、指定管理者本体から人員支援をした。また、歴史館ボランティアを活用している。	4	4	4

⑤ その他	内 容	自己評価	市の評価	委員会評価
a 独自の発意による指定管理者提案事業の取組状況(他の各項目に記入している内容を除く)	自主事業として近鉄文化サロンとの連携により古文書講座3回ならびに子供向け体験教室を実施した。また、館内自主講座として歴史・考古学講座、中世史講座、古文書講座を実施した。館内においてこども向け体験教室として土曜れきし館ワークショップを月1回、また他館、他施設においても出張ワークショップを実施した。	4	4	4

3 利用者の満足度調査等

① 満足度調査実施内容	展示室にアンケートを設置し、特別展・企画展、常設展の各利用状況、意見・感想、要望を調査し、集約した。
② 満足度調査結果概要	特別展・企画展の満足度は平均94.6%、展覧会関連講演会平均92.2%で満足度が高かった。自主講座も平均98.8%と高評価を得た。
③ 利用者意見・苦情と対応	展示室の照明が暗い意見には照明をLED照明に交換した。また、特定のテーマを取り上げての展覧会、例えば所蔵絵画展の要望があったため、向井久万裸婦像展覧会を開催した。また、展示室空調温度については効きすぎているとのご意見があったため、細かに調整する改善をはかった。講演会での話し方等速度や内容のレベルの改善をはかった。

4 評価

① 市の評価	所 見	評価
	仕様書に記された事業内容については確実に実施されている。平成29年度の総入館者数は前年度より増加し、展覧会、講演会等普及事業、学校教育連携(出前授業、博物館実習)、館外事業などにおいても利用者の満足度は非常に高い。平成29年度から運営ボランティアを募集し、市民の自発的な社会参加活動を促しています。今後も引き続き、市民の郷土愛を高められるような管理運営を期待します。	4
② 指定管理者制度 評価委員会の評価	所 見	評価
	民間機関との連携強化により、直営時にない新たな利用者層の開拓に努められている点は優れており、評価できる。利用者数は微増に留まっているため、直営時からの大幅な増加につながるよう施設のPRIに一層努められたい。	4